

アグリ ワーク ポイント AGRI WORK POINT



後期摘果で品質向上

果樹林産センター 青島 大貴



9月は、早生温州や普通温州は仕上げ摘果、極早生温州は樹上選果を行う時期となります。また、近年は浮皮が発生しやすい気象条件になるため、浮皮対策は必ず実施するようにしましょう。

極早生品種の樹上選果

樹上選果はあらかじめ商品価値の低い果実を収穫前に落としておく作業です。病害虫被害果や風スレ果、日焼け果、極小玉果、極大玉果は収穫しても商品性は低いため樹上選果で落としておくほうが効率的です。収穫時期に備えて、適正葉果比(20〜25葉/果)になっているか確認を行いましょう。

早生、普通温州の仕上げ摘果

早生、普通温州では、仕上げ摘果の時期となります。商品性の高い果実を残しながら、適正葉果比(早生温州・20〜25葉/果、普通温州・25〜30葉/果)となるように仕上げていきます。

病害虫防除

9月〜10月はミカンハダニが急増しやすい時期です。被害果は商品価値の低下を招くため、発生には十分注意しましょう。同一系統の殺ダニ剤の連用は薬剤抵抗性を獲得しやすいため避けるようにしましょう。

黒点病

「ペンコゼブ水和剤」

5000倍 (30日〜4回)

※黒点病は発病適温が20〜27℃、多雨で発生を助長します。黒点病防除後、30日経過するか累積降雨量が250mmになった時点で薬剤の効果が弱まるので、黒点病の再防除を行ってください。

チャノキイロアザミウマ、カメムシ

「スタークル顆粒水溶剤」

2000倍 (前日〜3回)

ミカンハダニ

「ダニゲッターフロアブル」

2000倍 (前日〜1回)

※7・8月に引き続き、果皮障害軽減を目的にバイカルティ10000倍を混用散布します。